

2020年度エンジニアリング功労者等表彰 受賞者謝辞

エンジニアリング功労賞と言う名誉ある賞を賜り、身に余る光栄と深く感謝いたします。ここに受賞者一同を代表いたしまして心からお礼申し上げます。

また、授賞の榮譽に浴することができましたのも、ひとえに関係各位のご指導ご鞭撻、並びに共に歩んだ仲間達、現地の人々のご協力、ご支援の賜物であり、厚く御礼申しあげます。



エンジニアリングビジネスに目を向けた、国際貢献、環境貢献や新技術開発を評価する、このエンジニアリング功労賞表彰制度は仕事に従事する人達の大きな励みになりますし、間違いなく今後のさらなるエンジニアリングビジネスの発展に大きく寄与するものと思います。

過去を振り返ってみますと 1990 年代、2000 年代の初め頃は 1000 億円でメガプロジェクトと言われておりましたが、最近では 5,000 億円、1 兆円を超えないとメガプロジェクト扱いされなくなっております。この様にエンジニアリングビジネスは誠にスケールが大きくダイナミックで社会への貢献度も非常に高く、本当にやりがいのある仕事であると思います。

もう 6~7 年前と思いますが、ある大手の建設会社さんがテレビの CM で“地図に残る仕事”をやっていると言っておられました。そのキャッチフレーズはまさにエンジニアリングビジネスそのものを一言で言い当てていると思っておりました。

私自身も世界各地に、この地図に残る仕事を多くやらせて頂きました。東南アジアではフィリピン、シンガポール、インドネシア、タイ、中東アフリカではクエート、サウジアラビア、バーレン、アルジェリア、南米ではブラジルと 30 年以上に渡り海外駐在生活をしてまいりました。その内、7 つは現場総責任者として中型から超大型のプロジェクトを統率し、サウジでは最盛期 15,000 人もの作業員を使い、安全にも配慮し無災害労働時間 6,450 万時間達成もいたしました。

最近では日本政府の ODA 案件であるイラクの超大型製油所案件プロジェクトの

見積りに参加し、何とか受注につなげる事が出来ました。湾岸戦争以来、イラク政府の長年の悲願であったプロジェクトを遂行する運びとなり、イラク復興に大きく貢献できます。 苦労も多いのですが本当にやりがいのある仕事でその達成感
は格別の物が有ります。

昔やったアルジェリアのサハラ砂漠での仕事で、今でも Google Earth で時たま覗いたりしますが、かすかな白い点を見つけ拡大すると広大なプラントが出てきます。 これを見て昔を懐かしく思い出すと同時に貢献できたのだとしみじみ思
いますし、誇りにも思います。

一方新技術開発や環境などは地図には残らないかもしれませんが、技術の歴史
を変えると
言う地図以上に大きな仕事でエンジニアリング産業の根底を担っており
ます。

私自身、このエンジニアリングビジネスに従事できたことを心から幸せに思っ
ており、誇りでもあります。今後も地図に残る仕事、技術の歴史を変える仕事は社
会発展、社会貢献に大きく寄与するものと確信いたします。

これからも我々は今まで以上に仕事に取り組んでまいります。それが今までお
世話になった方々のご厚情に報いることにつながり、エンジニアリングビジネス
発展の期待に応える私どもができる唯一の方法だと信じています。

2021年2月15日

受賞者代表
今井 真秀